

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	アナライズ 2	
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	後期
対象年次	1 年次	科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1 単位	授業形態	実習			
教科書/教材	Protools 101					
担当教員情報						
担当教員	柴 徳昭			実務経験の有無・職種	有・作編曲エンジニアリング	
学習目的						
楽曲制作にはメロディやコードや理論の他にも、いかにその曲を魅力的に聴かせるかという、演奏の録音やエンジニアリングの部分も不可欠となる。また外部のエンジニアやプレイヤーにデータを渡す際のデータの取りまとめなども重要になってくる。この授業では、AVID社のProToolsというDAWソフトの操作を覚えることを基本として、今後音楽活動で必要になってくるレコーディング・ミックス・マスタリング・他プレイヤーとの連携のためのノウハウなどを理解し実際に操作できるようになることを目的とする。						
到達目標						
作編曲で仕事をしていくためには、自分の曲にギターやボーカルといったプレイヤーの演奏を録音し、自身の楽曲を市販されている既存楽曲に近いレベルにまでクオリティを上げるためのプラグインエフェクトを理解し、より楽曲の魅力を高めるミキシングの技術を習得する必要がある。最終的に曲を発表するところまで自分でコントロールする技術とノウハウを身につける。またAVIDの「ProTools101」認定試験に合格しProToolsの一通りの基本操作を行えることを到達目標とする。						
教育方法等						
授業概要	まずはProToolsというソフトの基本的な操作方法から入り、同時にこれから扱っていく「音」に関しての理解を深める。コンピュータを使用して音を扱う際の技術的な部分も学習していく。また、実際のレコーディングの方法、ソフトウェアインストゥルメントを使ったMIDIの扱いや、各種プラグインを何のためにどう使うか、具体的なミキシングの方法についても学習していく。アナライズ1で学習したことを含めてさらに知識と技術を学習する。					
注意点	授業で使う教材を配布した後、講師の説明と実演を見てから、各自が自分のMacで作業をする。講師の説明をよく聞いてノートをとること。基本の操作は一年を通して何回も行うので、そのときに自身のノートを参照できるようにわかりやすくまとめること。またそれぞれの作業終了後に理解度をチェックするため成果物を提出する。この提出物が評価をする際の対象となるので提出日に欠席しないこと。またヘッドホンや変換端子などは各自用意すること。この授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験	30%	試験を評価する			
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	提出物	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1 回	プラグインエフェクト(1)		リバーブとディレイなどの空間系エフェクトを理解し曲に合わせたカスタマイズができる。			
2 回	プラグインエフェクト(2)		EQ/コンプ/リバーブ以外のエフェクターを使うことができる。			
3 回	ミキシング(1)		マルチトラックデータの貼り付け、トラックの並び替えやバス送りができる。			
4 回	ミキシング(2)		プラグインを使ってそれぞれのパートを適切な音色に調整できる。			
5 回	ミキシング(3)		オートメーションを使用し曲に展開や表情をつけることができる。			
6 回	MIDIの入力(1)		配布された楽譜をみながらMIDIエディタで音符の入力ができる。			
7 回	MIDIの入力(2)		音源を立ち上げてそれぞれのパートに適切な音色を選ぶことができる。			
8 回	ビデオのインポート		ProToolsにビデオを読み込み、効果音ライブラリーから効果音を配置できる。			
9 回	楽譜の作成(1)		スコアエディタでMIDIデータを表示し、楽譜表示に最適な状態にカスタマイズができる。			
1 0 回	楽譜の作成(2)		繰り返し記号やコードネーム、歌詞などを入力し演奏者にとって最適な楽譜を作成できる。			
1 1 回	Protools 101 に向けた対策(1)		ProToolsの基本的なモードやツールなどの理解できる。			
1 2 回	Protools 101 に向けた対策(2)		ProToolsでのレコーディングの手順や仕組みを理解できる。			
1 3 回	Protools 101 に向けた対策(3)		ProToolsでのMIDI入力と編集の手順を理解できる。			
1 4 回	Protools 101 に向けた対策(4)		ProToolsのプラグインの種類とその役割を理解できる。			
1 5 回	Protools 101 に向けた対策(5)		ProToolsの基本的なミキシングのツールと、手順や考え方を理解できる。			